

あわら市議会だより



第75号

令和5年2月15日 発行



ああ、あわら贅沢。
議会にはないぜいたくがあるまち

パブリックコメント終了!!
ご意見ありがとうございました!
ございました!

12月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	7p
陳情・討論	13p
議案と結果・編集後記	14p
委員会視察報告	15p
次回会期日程・パブコメ結果	16p

議会の様子がインターネットで視聴できます。

あわら市議会 YouTube

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>



12月定例会 令和4年度一般会計補正予算(第5号)**2億5,122万9千円を増額****令和4年度一般会計補正予算(第6号)****3,550万円を増額**

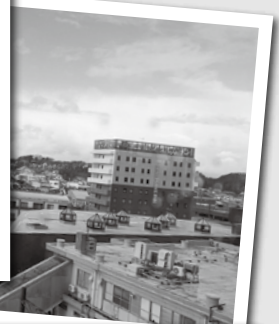
- 出産・子育て応援事業 3,460万円を計上
- 企業立地助成金等 2,672万円を計上
- 原油価格・物価高騰対策支援金等 2,080万5千円を計上
- Wi-Fi環境整備事業 2,830万円を計上
- 一般会計予算総額は172億1,223万6千円に

令和4年12月定例会が11月28日から12月20日までの会期で開催されました。

今回の定例会では、補正予算に関するもの6議案、条例の制定に関するもの6議案、公の施設の指定管理者の指定に関するもの3議案、坂井地区広域連合規約の一部変更に関するもの1議案、「字の区域の変更について」の一部訂正に関するもの1議案の計17議案が上程され、すべて原案のとおり可決されました。

また、今回は12名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

その他、議員発議による条例の改正に関するもの1件を可決し、陳情2件を不採択としました。

**整備が進む 北陸新幹線
芦原温泉駅及びアフレア!**

来年春の北陸新幹線県内延伸芦原温泉駅開業に向けて着々と周辺整備事業が進んでいます。

議会では12月15日に北陸新幹線芦原温泉駅及びアフレアの進捗状況を視察しました。

アフレアは3月19日にオープンします。

予算決算常任委員会（決算審査）

予算決算常任委員会は、令和3年度の決算について、「予算が適切に執行されているか」、「その財政執行が本来の行政目的に適合しているか」、「住民負担とその使途が適正かつ効率的に行われているか」などに重点をおいて審査し、9月議会で認定しています。

そして、次年度以降の事業に反映できるよう、様々な項目において提案や改善を求めていますので、主な項目を掲載します。

■総務課

職員数

北陸新幹線開通前での市にはない仕事が増えている。この職員数で対応していけるのかとの意見があった。

■監理課

あわら市複合福祉施設

鉄道建設・運輸施設整備支援機構への貸付けが終了した後の活用方法を検討すべきである。

公用車

電気自動車を導入し、市役所にも電気自動車



の充電設備を整備すべきである。

■税務課

差押えの実施状況

動産の差押えが行われていない。インターネット公売で換金できる動産の差押えも行うべきである。

■政策広報課

行政評価の推進

効率的で質の高い行政運営する上での射た取り組みだと思ふ。外部委員が含まれているため、適切に取り扱って質を高めていくべきである。

■市民協働課

ふるさとあわらサポート基金事業

市民公募により事業決定を行っていく手法も検討していくべきである。また、道の駅やアフレアなどに返礼品を並べ、ふるさと納税をPRできれば、その場でふるさと

納税を申し込む可能性が高いのではないかと。

■生活環境課

不法投棄対策

あわら市は基本的には非常に綺麗だと思つている。ただ、対処策のパターンだけではなく、抑止策を盛り込んでいくべきである。



■福祉課

生活保護事業

生活保護受給者が少ないと安心するのではなく、声をあげられない人のことも常に考え、アウトリーチの面を各種機関と連携していくべきである。

■子育て支援課

児童虐待防止の自立支援相談

問題のある方は家庭環境や生活状況がそれぞれ違うと思つるので、重層的支援という立ち位置から様々な機関と連携していくべきである。



■健康長寿課

地域支援事業

ケアプランの作成は仕事量が多いと思つが、現在の職員数では少ないと思つ。無理のないように委託を増加させるなど、確実にケアプランを立ててほしい。



■農林水産課

稚魚放流等事業

北潟湖における遊漁客の増加を目的に、稚魚購入に対する補助金の増額やその他の支援を拡充するべきである。



稚魚放流事業

■商工労働課

企業等魅力紹介ガイドブック 制作委託業務

あわら市企業等魅力紹介ガイドブック「BRIDGE(ブリッジ)」が小・中学校の授業で活用されることは、児童生徒の共通認識や郷土愛を育むうえで重要である。

よって、今以上の積極的な活用を市から推奨するべきである。



■観光振興課

観光協会委託業務

新規顧客の獲得に繋がるアイデアをあわら市観光協会が提案できるように、新規顧客に対するマーケティング調査・分析を引き続き行うべきである。



越前加賀県境の館

道の駅「蓮如の里あわら」と併せて管理運営等を検討していくべきである。

■建設課

金津南部土地区画整理基金

基金の事業区域は広範囲に及ぶため、区域内の整備を基金のみで対応するのではなく、一般会計を投じて維持管理や補修等の整備を続けるべきである。

市営住宅

特に老朽化が著しい稲越団地は、北陸新幹線開業までに何とか対処すべきである。

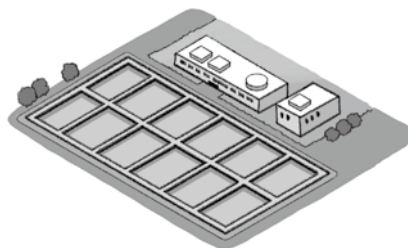


稲越団地

■上下水道課

受益者負担金・分担金

農地に係る下水道受益者負担金・分担金の猶予制度について、公平性が保たれるよう管理体制の厳正な運用をすべきである。



■芦原温泉 上水道財産区

水道料金滞納

高額滞納者について、今以上に滞納額が増えないよう収納に努めるべきである。

■教育総務課

カウンセリング事業

教員が勤務時間外に児童生徒の家庭に訪問してカウンセリングを行うこともあるが、保護者の理解を得ながら、勤務時間内の訪問や面談に移行するなど、教員に対するサポート体制を整えるべきである。



■文化学習課

あわら市文化会館

毎年、多額の維持管理費や借地料が費やされているため、休館の方向性が決まっているのであれば、それに向けて速やかに事務を進めるべきである。



文化会館

■スポーツ課

カヌー普及推進事業

あわら市でカヌーが有名になってきていると感じるため、全国大会を積極的に誘致すべきである。

審査全般

各所管の審査において、財政的見地はもちろん、事務事業の執行方策などに、多くの指摘・要望等を行っている。指摘事項については、次年度の予算編成や行政運営に生かされることを強く期待する。

予算決算常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

令和4年度 一般会計補正予算

■総務課

防災経費

550万円増額

新型コロナウイルス感染症対策に配慮した指定避難所の運営に対応するため、必要となるテナト等の資機材費用を補正計上するものです。

委員 テントは全ての指定避難所に配備できるのか。
理事者 指定避難所22か所全てに2セットずつ配備します。

■税務課

賦課徴収経費

900万円増額

地方自治体の基幹情報システムの共通化・統一化を踏まえて、課税データと登記データの照合を行い、合わせて土地・家

屋台帳システムのデジタル化を図るため、必要額を補正計上するものです。

委員 システム導入後の保守・管理などのランニングコストについてはどうなっているのか。

理事者 令和5年度は無償、令和6年度は60万円、令和7年度から90万円の費用が必要です。

■政策広報課

プログラミング

講師育成業務

16万5千円増額

DX推進事業として人材育成に関する事業費を補正計上するものです。

委員 講師として育成する人が大変重要である。どのような人材をターゲットにしているのか。

理事者 現在育児休暇を取っている方、定年を迎えた方、並びに学校教育現場で退職された方を

ターゲットとして見ています。

委員 育成する講師は本当に意欲があるかどうか、どういふビジョンを共有していくかが重要になると思うので、広く門戸を開き、実施しただけではなく、後々まで継続するようなものにしてほしい。

■市民協働課

ふるさとあわらサ

ポート基金事業

1億1千740万円増額

委員 ふるさと納税の返礼品では温泉の宿泊利用券が伸びているとのことだが、返礼品の選定はどこで行っているのか、また時期はいつか。

理事者 市民協働課において随時受付し選定しています。

■子育て支援課

市立認定こども園

運営事業

917万円減額

委員 気がかり児対応や出産休暇等の補充職員の採用数の減というのは、気がかり児が減ったということか。

理事者 当初予算は前年の実績などの見込みで加配の予算を計上しており、実績に応じた減額です。

■建設課

自転車道整備事業

152万7千円減額

委員 サイクリングロードを示す矢羽根マークと併せて、案内板でも自転車が行くことを一般車両の運転手に対して周知できないか。

理事者 案内板はサイクリングをする人に向けたもので、一般車両の運転

手が認識できるものではありません。よって、矢羽根マークをもって自転車が通行する道路であることを認識ください。

■新幹線まちづくり課

芦原温泉駅周辺整備

事業

152万7千円増額

委員 芦原温泉駅の自由通路をはじめとする関連施設において、消防協力の結果、火災報知器を連携すべきことが判明したとのことだが、事前に把握できなかったのか。

理事者 消防署が関連施設を一体的な建物と捉える判断をしたため、火災報知器を関連施設と連携させる機器が必要となりました。

■農林水産課

農業次世代

人材投資事業

131万3千円増額

委員 新規就農者の離農による補助金返還が多いが、離農する理由などの調査は行っているのか。

理事者 離農者が発生した場合には、離農者に対しヒアリングを行っており、なぜ営農継続が出来なかったのかについて分析を行っています。

■商工労働課

工業導入促進経費

2千672万円増額

委員 5年前は4億円余りを助成していたが、近年低調である。企業誘致についてどのように考えているのか。

理事者 企業誘致を必要とする用地が残っているため、製造業だけでなく商業関係の企業誘致も積極的に行っていきたいと考えています。

総務厚生常任委員会

市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

あわら市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

あわら市一般職の職員の給与に関する条例及びあわら市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和4年の人事院勧告に準じ、改正を行うものです。

あわら市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

坂井地区広域連合規約の一部変更について

地方公務員法の一部改正等を踏まえ、令和5年4月1日から職員の定年を段階的に65歳に引き上げるとともに、管理監督職勤務上限年齢制、定年前再任用短時間勤務制等の定年引上げに関連した諸制度を設けるため、条例の制定を行うものです。

委員 主幹という役職はこういった職務か。
理事者 60歳を過ぎた管理職が役職定年となり、管理監督職として培った知識や経験から、課長補佐のサポートや専門的な事務処理、課員の指導監督相談などの事務に従事する役職です。

議案外の件

あわら市重層的支援体制整備事業実施計画書（案）

委員 大変な仕事で職員レベルアップが必要である。

理事者 支援会議などの試行をしている段階で、こうした会議等を通じて、事例の共有や、連携の仕方などについて検討を深めているところです。

芦原温泉駅交通広場条例及びあわら市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について

芦原温泉東口交通広場の新設に伴う所要の改正を行うものです。
委員 東口交通広場にバス等の進入は想定しているのか。

理事者 バス等が東口交通広場の駐車場内に進入することは想定していませんが、東口交通広場の道路に進入することや、東口アクセス道路付近のバス待避所に駐車することは想定しています。

あわら市公園条例の一部を改正する条例の制定について

ゆつゆうパークあわら内多目的グラウンドの使用時間及び料金の変更に伴

う所要の改正を行うものです。

委員 使用料を半日単位から1時間単位に変更しているが、使用料が高いことで利用者からクレームがあったのか。

理事者 そのようなクレームは無く、使用時間を見直すことで、複数の団体が利用できるようにするためです。

公の施設の指定管理者の指定について

「金津本陣賑わい広場」の指定管理者として「あわら市商工会」を指定するものです。

公の施設の指定管理者の指定について

「越前加賀県境の館の指定管理者」として「越前加賀県境の館管理運営委員会」を指定するものです。

委員 指定管理者に異論はないが、施設利用者が非常に少ないため、令和5年4月にオープン予定の道の駅「蓮如の里あわら」と連携させ、利用者の増加を図るようしてほしい。
理事者 地元と連携を図り、利用者呼び込めるようにしていきます。

公の施設の指定管理者の指定について

「芦原温泉駅西口賑わい施設」の指定管理者として、「一般社団法人アフレア」を指定するものです。



金津本陣賑わい広場 (aキューブ)

・水田農業の 振興について

木下 農業経営が厳しい現状を踏まえ、これまでの農家に対し、どのような経営推進をしてきたのか、今後どのような経営推進を図っていくのか。

市長 安定的な農業経営確立のため、農業者の所得向上につながる施策を展開しています。特に水田農業においては、需要に応じた主食用米の生産を推進すること、米価の安定を図っています。

木下 生産性の高い農業経営を実現するため、市はこれまでどのように対応してきたのか、また、今後どのように対応していくのか。

経済産業部長 計画的に圃場整備を行い、耕作条

件の改善に努めてきました。

今後、引き続き基盤整備事業を行うことで、生産性の高い農業経営につながるよう支援していきます。

木下 農業肥料の高値は続いており、来年度も農家の負担は大きい。引き続き来年度も農業肥料支援制度が必要と考えるがどうか。

経済産業部長 肥料価格の推移や国、県の農業肥料支援策の動向を注視しながら検討していきます。

木下 米農家には米価下落についての強力な支援策が必要であると考えるがどうか。

経済産業部長 今後の米価の推移や収入保険の



木下 勇二 議員

給付状況を注視し、国や県の方針に沿うような形で対策を講じていきたいと考えています。

木下 市がどこまで水田農業政策に力を入れるかが、農家の支えになる。水田農業政策を強化し、農家の支えになるようにお願いしたい。

※その他、集落ときめき活動事業補助金について質問いたしました。



・自治会(区)が法定外公共物、 区道(赤道)の維持管理の 対応方法について

法定外公共物の維持管理方法について

八木 市としての管理方法を区に説明すべきではないかとの問いに対し、所有権が国から市に変わっただけで区への対応は何も変わらないという判断は、市の職務怠慢ではないか。

土木部長 法定外公共物の維持管理については、国が財産管理を行っていた当時から、明確な位置づけがなく、従来から慣習として自治会が主体として管理してきました。

八木 自治会は区長が毎年変わることもあるため、払い下げの分かりやすいマニュアルを作成し、管理しやすくすべきではないか。

土木部長 様々な事例が想定されるため、相談や要請があれば、その都度対応していきます。

区長の成り手不足への対策について

八木 自治会に対する支援についての調査について、その後の進捗状況はどうなっているか。

総務部長 全区長への調査の結果、多くの自治会が、少子高齢、人口減少等により役員の高齢化、固定化による担い手不足やコロナウイルス感染症拡大により、市民同士の交流が減少したことを課題としてあげています。

また、区長として、会議、行事等の出席など、



八木 秀雄 議員

依頼事務が負担となるとの意見が多くありました。

八木 3月に同様の質問をして、調査結果が12月に出るのは非常に遅い。

他市では今後の自治会の存続が難しいと思われる自治会に合併を促す事業を始めている。あわら市はこれまでに統廃合に関する相談はなかったのか。

総務部長 区長から自治会の再編に向けた相談は寄せられていません。

八木 市が一方的に再編を行うものではないと思うが、坂井市のように専従職員を作り、各自治会をまわり、対策を講じなければいけないと強く指摘する。

アフレア内、出店予定の事業者変更について

笹原 幸信 議員



笹原 選定から2年、オープン4か月前になぜ契約の協議を打ち切ったのか。

市長 三丹本店から、出店費用が工事費の純増部分と資材高騰により、当初予定した6千万円の倍の1億2千万円になるため、2千300万円の補助金の追加をお願いしたいとの申し出がありました。補助金の増額分の精査となれば、相当の時間を要し、本体の工事に影響が及ぶことになり

ます。また次点優秀者が補助金4千万円で出展可能とのことから、三丹本店には増額はできないと伝え、経営も心配であるため出店を引き返してはどうかと伝えました。

笹原 三丹本店が補助

金の増額の申し入れをしたのは工事費の高騰と、本来、市が負担すべき工事費の1千126

万円が三丹本店に付け替えられていたためと聞き、調査を求めたが、証拠となる議事録が全然なく、信じられない事態が判明した。新幹線まちづくり課で工事区分および金額の精査をしてほしい。

なぜ、議事録がないのか。

経済産業部長 工事に關することは、内装、外装業者の記録ということ、やり取りがあったことは確認しています。(議事録の有無については回答無し)

笹原 経費をかける理由があるならば、開業まで1年4か月もあるの

で1年4か月もあるの

補正予算を上程できる。なぜ工期を延長して対応しないのか。

市長 融資と国庫補助の合計額が工事費に満たなかった場合、市が追加の財政支出を余儀なくされる恐れがあることや、融資と国庫補助の結果を待つて工事を行うと、オープンが最悪半年遅延するためです。

笹原 裁判で市長は99%勝てると言っているが、最悪の1%で負けた場合は、裁判所の指示に従うということか。

市長 いろいろ内容内容を精査させていただき、粛々と進めたいということです。

笹原 アフレア1階へのコンビニ出店では絶対駄目です。

・休校利活用と

地域活性化について

・人口減少における

保育所の在り方について

休校利活用と地域活性化について

堀田 休校・廃校について、今後どのように考えているか。

市長 例えば、校舎を使つての宿泊施設や大規模改修を行うためには、廃校とする必要がある、時期については活動団体の思いを十分に聞いた上で判断したいと考えています。

堀田 新郷・波松は過疎債、吉崎は辺地債を利用すべきと思うがどうか。

市長 3校共に過疎地域、辺地の対象区域になることから最大限に利用し、利活用事業を進めていきたいと考えています。

堀田 初期投資等の支

援を行い、今後、活用団体の採算が見込めるようにするための考えはあるか。

市長 休校施設の運営については、各団体に中心になっていただきたいと考えています。しかし、ボランティアによる活動が主流であることなどから、現在の体制では難しいと考えています。

そこで市では事業への民間活力の投入について検討を始め、民間のノウハウや資金の活用を通じて運営の効率化や財政負担を軽減できるように検討していきます。

人口減少における保育所の在り方について

堀田 2025年に園

堀田あけみ 議員



児数がピークを迎え、保育所が過剰となる時代が到来すると思うが、どのように対応を考えているのか。

市長 市はこれまでも区域ごとに、こども園の定員数を調整し、充足率を上げ健全な運営維持ができるように対応してきました。また、定員が減ることによるこども園の空き教室の活用や保育教諭の人材活用についても考えていきます。

堀田 今から地域ごとに異なる具体的状況に応じた保育の在り方の検討や、各保育所等の状況を踏まえた持続可能な保育提供体制づくりを計画的に行うべきと考える。

あわら市の強みを活かした

地域経済振興策とは 強みを活かした観光戦略

青柳 第2次あわら市総合振興計画の経済産業における地域振興策とは何か。

飲食サービス業で約7%です。

市長 経済産業分野は施策の柱の一つに数えられており、観光の振興、農業・林業・水産業の振興、工業、商業・サービス業の振興など、八つの基本施策とその方針及び事務事業が定められています。

青柳 製造業は、市外からあわら市に多くの人が働きに来ている。強い部分をさらに伸ばす支援策と、今後新たに検討していかなければならない支援策は何か。

市長 既存の企業誘致制度は、特定地域のみであった対象を市内全域とし、従来6種類であった対象業種に卸売業、小売業や飲食サービス業などを加え、より幅広い新たな支援制度を検討します。

市長 旅行に行きたい国ランキング世界ナンバーワン、世界経済フォーラム、通称ダボス会議で世界から得た日本の評価である。インバウンドにチャレンジする意識はあるのか。

青柳 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。

市長 インバウンド需要を取り込んでいくことが重要であると認識しています。

青柳 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。

市長 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。

青柳 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。

市長 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。

青柳 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。

市長 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。

青柳 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。

市長 あわら市にも、他の場所と比較した強みがある。梅雨どきの日照時間が長い、大地をえぐるように湖がある、他と比べ代えることのできる事実である。



青柳 篤始 議員



北浦 博憲 議員



福井県観光客入込数(推計) から見た「あわら市」の 課題について

日本海沿岸地域の 観光資源について

福井県観光客入込数(推計)から見たあわら市の課題について

北浦 本市を訪れた人数は県内市町との比較ではどうなのか。

市長 令和元年度における本市の入込客数は約170万4千人で県内17市町の中で11番目となっています。

日本海沿岸地域の観光資源について

北浦 手つかずの自然が残る北潟国有林内の自然は、市民の皆さんにどのように紹介され、活用されているのか。

市長 「北潟の森協議会」が、平成15年に福井森林管理署と協定を結び、国有林の整備等を含めた森林づくり活動を計画的に実施しています。平成18年には、福井森林管理署と本市教育委員会が協定を結び、毎年多くの小学校が自然観察会を行っています。

北浦 芦原海岸一帯のいわゆる浜文化の発掘と継承を行ってはどうか。

教育長 当該地域におけるコウナゴ漁や製塩業、北前船に関するものなど、市内の他の地域とは異なる特徴的な文化があることは認識しています。今後、市内全域の文化財の把握を行い、どのように保護し、活用していくかを示す文化財保存活用地域計画の策定準備を進めていく予定です。その上で、企画展や講座の開催等を通じ、芦原海岸一帯の文化について情報発信や、文化の継承をサポートしていきたいと考えています。

経済産業部長 市内を北潟湖、吉崎・細呂木・丘陵地、森林、田園、金津まちなか、湯のまち、の七つのエリアに分類し、体験・

林管理署と本市教育委員

・アフレア及び関連事業の オープンに向けた 進捗状況等について

吉田 太一 議員



吉田 アフレアの管理運営は一般社団法人アフレアが管理運営していくが、アフレア内の各施設の機能向上や円滑な運営をしっかりとマネジメントしていくべきである。

副市長 まだ具体化はしていませんが、カフェ、物販の部分、管理運営の一般社団法人の部分、活性化委員会の部分、そして利用者の部分など、しっかりと話し合いや情報共有ができ、不都合があればどう解決するかを考える場というのが必要と思っています。

4月オープン予定の道

の駅につきましては、アフレアでも同じように進めていくべきと考えています。

吉田 市内周辺施設との連携をどのように考えているのか。

副市長 訪れた方に魅力ある周辺施設や地域をどう伝えるか作戦が必要だと思いますので、オンラインジュやネットサービスなど、これから手法を考えていきます。

また、移動手段も大事であるため、現在タクシーを使った新しい観光客向けの二次交通システムを考えています。

吉田 業者選定から2年、森市長になってから10か月近くたち、今になって事業者変更はおかしいと思う。

また、三丹本店は令和3年、大雪で国道8号が渋滞しているときに、市の要請で急遽、弁当を作ってもらったり、また、市の様々なイベントに参加してもらっている。ここであっさり切るのではなく、もっと人情的にお互いに話し合いをしながら、一緒に考えてあげるくらいの気持ちはあってほしいと思う。

にぎわいづくりの起爆剤がアフレアだと私は思っており、市民も私も期待していただだけに大変残念である。

・災害廃棄物処理計画について ・带状疱疹ワクチン接種 助成について

水道スマートメーター導入について

災害廃棄物処理計画について

平野 市の災害廃棄物処理計画策定の状況はどうなっているか。また、年度内には策定できるのか。

市長 県のワーキング会議に参加し、処理計画策定に向け準備を進めています。地域防災計画との整合性を図りながら、今年度末の策定を目指し取り組みます。

平野 県及び市内の産廃処理事業者との災害時応援の協議は進めているのか。

市長 産廃事業者との処理に関する協定の締結は必要不可欠であり、県産業資源循環協会と、受入れ、分別、処分等を行

う協定を年度内に締結するよう協議を行っています。

带状疱疹ワクチン接種助成

平野 高額な生ワクチンや不活化ワクチン接種の助成制度の創設を求め

健康福祉部長 国で定期接種に向けた議論が進められているため、その動向を注視し、安心して接種を受けられる体制を検討します。

水道スマートメーター導入

平野 検針業務の負担が無くなり、市の福祉部門との連携で高齢者の安否確認が出来るなどの利点がある。導入の検討を求める。

土木部長 防災や福祉面においても大きなメリットがありますが、多額の費用を要するため、現時点での導入は時期尚早です。今後は、国の補助金など財源ができれば実証効果を検証し、導入の検討を図ります。



平野 時夫 議員



・新規事業など定例的でない 歳出予算作成について

室谷 歳出予算作成(予算調製)の流れはどのようになっているか。

総務部長 予算編成はおおむね各課からの予算要求から始まり、財政課査定、市長査定、予算案の決定、議会への提出という流れで進められます。

室谷 財政課査定はどのように行っているのか。

総務部長 ヒアリング形式で行い、予算要求書のほか、事業の詳細や金額の積算根拠などが分かる補足資料を用いています。

事業内容については、成果や期待する効果、必要性を、また、要求額については、特定財源の有無や前年度との比較、過去の実績、設計書や参考

見積書などにより金額の妥当性を判断します。

室谷 新規事業など定例的でない歳出予算要求査定での補足資料として、参考見積書を取る場合の決まりはどのようか。

総務部長 参考見積書をはじめとする査定資料に関する特段の決まりは設けていません。業者の過去の実績や営業努力、競争入札参加資格審査申請有無などを考慮して、1社または複数の業者から徴収する形が一般的と認識しています。

室谷 定例的でない事業や新規事業においては、特に市場価格調査が必要と考える。1社の参考見積書では市場価格調査とは言い難く、複数

の業者から見積徴収することが必要と考える。

一方で、参考見積書の提出を依頼された業者が落札している事例が多いという声も耳にする。参考見積書提出者と落札者が同一である確率や頻度などの実態調査が必要であると考える。

総務部長 より正確な執行が確立できるよう、そういったことも調べさせていただきます。

※その他、道の駅「蓮如の里あわら」開業にむけての施設運営整備状況について質問しました。



室谷陽一郎 議員



・あわらし温泉開湯 140周年記念祭の 実施について

島田 福井県随一のあわらし温泉は、明治16年に開湯し令和5年に開湯140周年を迎えるが、開湯記念祭の実施については、北陸新幹線県内開業の時期との関係から、開業前後の記念イベントや、道の駅蓮如の里あわらやアフレアのオープン、令和6年10月からの北陸DCなどと組み合わせ、新幹線開業効果を最大限に享受できる仕掛けが必要であるが、開湯記念祭の実施時期をいつと考えているのか。

市長 令和5年9月から10月頃を予定しており、イベントだけでなく、旅行会社との提携による記念旅行商品の開発をメインにし、市民の新幹線開業機運醸成も図

りたいと考えています。

島田 実施時期は適切だと考えるが、旅行商品開発には時間がかかるので、早急に進めるべきである。また、一般市民のおもてなしの心の醸成も重要である。

開湯140周年祭について、実施体制や事業内容、事業費はどう考えているのか。

経済産業部長 実施体制は、市と旅館組合、観光協会を事務局とし、商工会等を含めた実行委員会を設置し、誘客を促す旅行商品に直結する企画をメインにしたいと考えています。総事業費は2千万円程度で、そのうち市の補助金は1千万円を予定しています。

島田 市の補助金は1

千万円といっても、湯かけ祭りなどの例年のイベントに対する補助金を除くと、独自に使える金額は300万円程度であり、百年に一度の好機である新幹線開業や、これまでの開湯記念祭と比較しても、金額が少なすぎる。国や県の補助金、過疎債の利用など、あらゆる財源をフル活用して、もっと前向きに向上に考えるべきである。

湯かけまつり



湯かけまつり

島田 俊哉 議員



あわら市におけるDXの進捗と今後について

三上 寛了 議員



三上 DXの進捗と今後の計画を教えてください。

市長 ICTアドバイザーによる職員研修や勉強会、及び各課からの業務改善に関する相談

対応を行い、課題解決に対する意識改革を促しています。

市民向けには、スマホ・タブレットよらず相談所を開設し多くの方にご利用いただいています。

今年度及び来年度は、デジタル人材の育成に関する事業を中心に進めながらDXを推進していきたいと考えています。電子申請手続の拡充を進め、いつでもどこでも行政手続ができる環境を確立していきます。多くの技術や便利なサ-

ビスが市民生活に浸透し、利便性の高い住みやすいまちづくりの実現を目指したいと考えています。

三上 あわら市においてDXで解決すべき課題は具体化されているのか。

市長 地域コミュニティの衰退や、健康寿命の延伸、商工業の活性化、IGAスクール構想の環境整備など多くの課題を把握していますが、それらの問題点同士の関係性や対応優先度については現在検討中です。

これらの問題を解決するため、デジタル技術を活用して取り組み手法の明確な具現化に向けて、洗い出し及び対応方針について協議 検討を行っています。

三上 市民と行政の情報共有やコミュニケーションを、DXの手法を用いてできるだけ早く推進してほしいと思うが、そのような意思はあるか。

創造戦略部長 市民とのコミュニケーションツールとして、SNSでの情報発信の方法や、公式LINEの導入に向けた検討を行っています。

三上 最も重要なことは、行政と市民がしっかりとコミュニケーションを取ることで、市民が関心を持つ本場に知りた情報をも市側が出し、それをみんなで議論することだと思う。それがあわら市の風土になったときに、あわら市は変わると感じる。

物価高騰―市民のくらし応援を 市民の安全・安心の ために街灯設置を アフレアへのカフェレストラン・ 物販店の出店について

山川 知一郎 議員



山川 燃料費や食料品などが値上げされ、市民のくらしを直撃している。福祉灯油など、市民のくらしを支える施策を行うべきではないか。

市長 物価高に対する家計支援として、プレミアム付商品券や電子クーポン発行事業を行っています。また、農業肥料の購入支援や小規模事業者への応援給付金の支給なども行っています。

山川 積雪期を控えて、くらしはますます厳しくなる。更なる施策を強く求めたい。

市民の安全・安心のために街灯設置を

山川 街灯の設置にはらつきがある。設置基準と電気料の負担はどうなっているか。

土木部長 道路構造令や道路照明施設設置基準等を参考に設置しています。防犯灯については、区が設置することを原則としています。その際、集落内は3割、集落間は7割の補助制度を設けています。

道路管理者が設置した照明の電気料については、それぞれの道路管理者が負担することになっています。

山川 市民の安全・安心のために街灯を増やすべき。また、区の防犯灯の電気料について助成すべきだ。

山川 市は、アフレアへ出店を予定していた三丹本店との協議を打ち切り、ジェイアールサービスネット金沢のコンビニの少し大きいものを出店をさせるとのことだが、「なぜ、アフレアのメインがコンビニなのか」など市民から批判の声が上がっている。

なぜ三丹との協議を打ち切るのか、一方的説明では納得できない。三丹は訴訟を起こしており、納得できる説明を求めます。

副市長 訴訟の結果を見て、議会と相談しながら進めていきたいと思えます。

請願・陳情 意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●直ちに特急乗り入れ工事を中止し、北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」を、現行のまま存続させるよう、国に対する意見書を提出することを求める陳情

趣旨 新幹線開業後少なくとも四半世紀は、関西・中京とのつながりが弱まることが予想されるため、特急を存続させるべきである。

提出者 特急存続を求める有志代表 橋川 洋

結果 不採択

●最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書

趣旨 最低賃金の地域格差をなくし、抜本的に引き上げるとともに、中小企業支援策の拡充を実現させるため。

提出者 福井県労働組合総連合 議長 鈴木 孝典

結果 不採択

議員発議

あわら市議会議規則第14条において、議員は各種要件により議案を提出することができます。

●あわら市議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

趣旨 令和4年の人事院勧告に準じ、議会の議員の期末手当について所要の改正を行うもの。

内容 本年12月期の期末手当を1,625月から1,675月に0.05か月分引き上げることと併せ、令和5年からは、6月期と12月期を平準化し、期末手当を1,65月に改正するもの。

結果 可決

討論

議案第75号 令和4年度あわら市一般会計補正予算(第5号)

市民の苦しい生活を考えれば、今この時期に特別職の給与を引き上げるべきではない。

反対

議案第80号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特別職の給与等については、今の厳しい状況を考えれば、上げるべきではない。

反対

議案第83号 あわら市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

60歳を超えた職員の給与は引き下げずに、少しずつ上がっていく給与体系にすべき。

反対

陳情第4号 直ちに特急乗り入れ工事を中止し、北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」を、現行のまま存続させるよう、国に対する意見書を提出することを求める陳情

特急「サンダーバード」「しらさぎ」を現行のまま存続させるべき。

賛成

陳情第5号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書

最低賃金引き上げと同時に、中小企業に対する支援も拡充すべきである。

賛成

発議第5号 あわら市議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市民の暮らし、特に、物価高騰が引き続き非常に厳しい状況になっていることを考えれば、議員の期末手当の引上げはやめるべき。

反対

令和4年12月 第114回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 △…棄権 ー…欠席等 ※議長(山田 重喜)は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	三上 寛了	青柳 篤始	島田 俊哉	木下 勇二	北浦 博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	山田 重喜	八木 秀雄	笹原 幸信	山川知一郎	北島 登	卯目ひろみ
市長 提出	令和4年度あわら市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○
	令和4年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	令和4年度あわら市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	令和4年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	令和4年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○
	あわら市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○
	あわら市一般職の職員の給与に関する条例及びあわら市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	あわら市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○
	芦原温泉駅交通広場条例及びあわら市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	あわら市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について(金津本陣にぎわい広場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について(越前加賀県境の館)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について(芦原温泉駅西口賑わい施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
	坂井地区広域連合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
「字の区域の変更について」の一部訂正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	
令和4年度あわら市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	
陳情	直ちに特急乗り入れ工事を中止し、北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」を、現行のまま存続させるよう、国に対する意見書を提出することを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	○	×	×
	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	○	×	×
発議	あわら市議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○

編集・発行責任者
議長 山田 重喜
市議会広報編集特別委員会
委員長 卯目 ひろみ
副委員長 北浦 博憲
委員 三上 寛了
委員 青柳 篤始
委員 木下 勇二
委員 室谷 陽一
委員 平野 時夫

編集後記
金津東こども園の玄関の壁に、園児たちの描いた数枚の抽象画が飾ってある。その絵は同じ色の絵の具で描かれながら、どれひとつとして同じものはない。まるで、ひとりひとりの個人そのものが現れているような絵に私は驚かされた。大勢が集まっていると、つい同じように見えてしまうことがあるが、決してそうではないことがひしひしと伝わってくる。
どの子どもも本気で向き合う大切さを突き付けられたような思いがした。
(卯目)

《 委員会視察報告 》

議会運営委員会



滋賀県東近江市市議会では、「議会BCPについて」の視察研修を行いました。進め方としては、検討会を設置し、素案作成、議会運営委員会で協議、検討会で素案の修正、議会運営委員会に報告をし、全員協議会で協議・決定をします。検討会設置から全員協議会・決定、第一版策定まで2カ月しかかかっておらず、集中とスピード感があることに驚きました。

愛知県岩倉市議会では「議会改革の取り組みについて」の視察研修を行いました。議会サポーターあるいは市民からの意見等については、議会として取り組むべき案件としては、各委員会に割り振り協議してもらい、代表者質問に持っていくとのことでした。

兵庫県西宮市役所では、DXの推進についての視察研修を行いました。DXを進め、効率化やコスト削減を目指すだけでなく、業務の在り方そのものの見直しや組織の変革によって、市役所の改革を進めていくとのことでした。

廃校利活用で2か所視察し、兵庫県淡路市旧尾崎小学校では、定住人口及び交流人口の増加、雇用の創出、地元との交流など地域の活性化になっていました。今後宿泊施設やIT関係のオフィスなども考えているとのことであり、民間事業者ならではの使い方だと感心し、また市や住民の柔軟な考え方にも驚きました。兵庫県神戸市旧湊山小学校でも、住民の気持ちや思いを取り入れた民間事業者ならではの利活用だと思いました。

総務厚生常任委員会



石川県珠洲市では、「里山里海を活かした観光施策について」視察しました。他にはない「オンリーワン」の道の駅になることで、旅行会社の目にとまり、ツアーに組み入れられ来場者が増加し、消費額の増加に繋がっているのだと感じました。

富山県魚津市では『ゲームのまち推進事業「つくるUOZUプロジェクト」について』と「魚津市ワーケーションモニター事業について」を視察しました。1点目については、いろいろな課題はあるにしても今後が楽しみで魚津市ならではの特徴ある事業になると感じ、2点目については、ワーケーションのリピーターはあるが、なかなか移住に結びつかないという現実も目の当たりにしました。

産業建設教育 常任委員会



令和5年3月定例会

：会期日程案：

2月27日(月)～3月22日(水)

2/27(月) 本会議 3/ 8(水)、9(木)
 3/ 6(月) 一般質問 総務厚生常任委員会
 3/ 7(火) 一般質問 3/10(金)、13(月)
 3/22(水) 本会議 14(火)
 産業建設教育常任委員会

あわら市議会
開会、
第百十五回政務活動費パブリックコメント
意見の概要

11月21日から12月20日まで実施しましたパブリックコメントの意見を掲載します。貴重なご意見ありがとうございました。

提出者1

政務活動費の交付に関する条例の制定については、次の理由をもって反対します。

- ①地方自治法には政務活動費を、必要な経費の一部として支給できると規定されているが、議員報酬のように必ず支給すべきものとの規定ではないこと。
- ②政務活動費を支給するとなると、当然ながら請求内容の審査が必要となり、余分な事務処理(オンブズマン等の対応も含め)が発生すること。
- ③各議員の政務活動費相当分の実績の公表など、政務活動費の交付を必要とする実態が明らかにされていないこと。
- ④物価上昇により市民生活が逼迫している中で、議員のみが自らの利権を得ようとしている姿勢が理解できない。

提出者2

坂井市と比較すると、まず、あわら市の市議会議員数が多すぎる。単純にあわら市の人口比率は坂井市の30%程度である。

坂井市の議員報酬総額(政務活動費を含む)を人口比率であわら市の議員報酬総額にあてはめると、坂井市の月額報酬450,000円だと7.2名、あわら市の380,000円にしても8.5名である。

あわら市の議員定数は、どんなに多くても10名以内であるべきだと考えます。議員定数を削減したうえで、政務活動費の交付、議員の月額報酬の引上げも検討すべきと考える。

提出者3

全く活動している様子が見られない。区の定例会に出席していたが、選挙前にした形式的な投票をお願いする挨拶のみがその活動に触れた全てである。もしくは市議会だよりで目にするくらいだが、いつも形骸化しているとの感想しか持てない。

これはあわら市議会議員全員に言えると考え、議員数を減らせという声が以前から聞かすが、全く賛同する。ましてや実体のない政務活動費の交付などをもってのほかで、全く必要を感じない。交付するならその証拠を住民に「見える化」するべき。

本当に活動していることを回覧板などで普段から周知すべきであると考える。

例えば大雪の後でも道路状況や対策が全く改善しない等、なんら議員の存在が感じられないからである。コロナ禍においても状況改善に向けての議員らしい活動は一切なかった。

よって、ここに強く政務活動費の交付の条例に反対し、その財源を喫緊にコロナ禍で困窮している世帯に支給すべきと考える。

パブリックコメントで寄せられたご意見は、全議員で共有させていただき、その回答につきましては、市議会のホームページに掲載させていただきます。

市民に親しまれる、議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

発行／あわら市議会
編集／あわら市議会広報編集特別委員会

〒910-0691 福井県あわら市姫三丁目1番1号 あわら市議会事務局
TEL: 077-673-1805(直通) E-Mail: gikai@city.awara.lg.jp